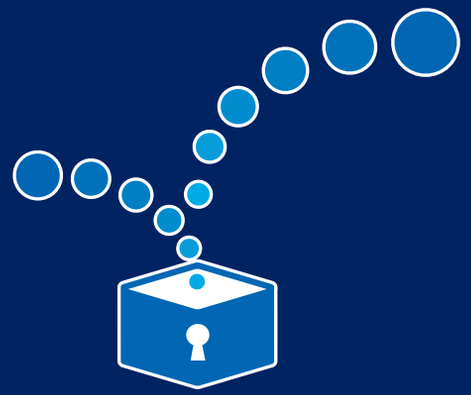
一般社団法人

日本知財学会

Intellectual Property Association of Japan



一般社団法人**日本知財学会 事務局**

（郵便の送付先、連絡先）

〒182-8585　東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
国立大学法人電気通信大学 東35号館105-2
TEL：080-2338-3795
FAX：03-4243-3895
E-mail：office@ipaj.org
https://www.ipaj.org/

日本知財学会　検索

日本知財学会とは

日本知財学会は、知財を生み出す研究者および知財を利用する企業の経営者が中心になり、ニーズ指向の知財学を振興するため2002年10月に設立されました.

知財に関心を持つ多様なバックグランドを持つ方が参加し、科学技術やコンテンツにかかる創造、保護、活用について、法律、経済、経営、国際関係論など学際領域を中心に研究活動を振興しています.

韓国知識財産学会および中国知識産権研究会と学術協力協定を締結し、国際活動も積極的に行っています.

会 員 特 典

- ●知財に関係する、研究者、実務者、政策担当者等の交流により、多様かつ強力なネットワークを構築
- ●日本知財学会誌の購読（年3回発行）
- ●日本知財学会誌への論文投稿（査読を経て掲載。掲載料無料）
- ●学術研究発表会での研究発表（発表内容は予稿集に掲載）
- ●各種イベントを電子メールで通知
- ●各種イベントへの参加費割引

年 会 費

法人会員	個人会員	学生会員
10万円より	1万円	5千円

日本知財学会の主な活動

学術研究発表会

- 知財に関する研究成果の発表と、最新の知財トピックスの発信の場として、年次学術研究発表会を開催.
- シンポジウム、テーマセッション、一般発表等を実施.

シンポジウム

- その時々の重要なテーマに基づいて、国内外より講師を招き、講演やパネル討論を実施.
- 学術協定を締結している韓国知識財産学会・中国知識産権研究会と協力し、連携国際シンポジウムを毎年開催.

学会誌・刊行物の発行

- 年3回発行の日本知財学会誌(Journal of Intellectual Property Association of Japan)およびWEBジャーナルに、企画論文、査読付論文を掲載.
- 投稿論文を随時募集.
- 学術研究発表会の一般発表予稿およびセッション概要等を掲載した予稿集を発行.

表　彰

- **【優秀論文賞】**知財に関する学術振興を目的とし、特に優れた投稿論文を表彰.
- **【産業功労賞】**知財の観点で顕著な業績があった法人会員を表彰.
- **【学生優秀発表賞】**若手の人材育成を目的とし、学術研究発表会にて優れた研究発表を行った学生を表彰.

政策提言等

我が国の知的財産政策に対し積極的に提言. 政策提言は、委員会や分科会での議論に基づき作成し、理事会の承認を経て公開. 2004年より最高裁判所専門委員(知的財産訴訟)の委員候補者を推薦.

分 科 会

会員による自主的な組織. 申請に基づき一定の基準を満たした研究グループを分科会に認定. 専門分野毎に情報交換、学術交流、人材育成、普及啓発活動等を行う.

❶知財人財育成研究分科会
❷知財教育分科会
❸知財学ゼミナール
❹ビジネスと知的資産・知財法研究分科会
❺コンテンツ・マネジメント分科会
❻知財制度・判例分科会
❼大学発イノベーション分科会
❽ブランド経営分科会
❾経営デザイン分科会

(2024年4月1日現在)

定例研究会

会員を対象に、各分科会が持ち回りで研究会を開催. 会員同士の知財情報の交換・学術交流等の場でもある.

エグゼクティブ知財時事懇談会

法人会員および学会役員、分科会運営担当者等が懇談する形式で開催. 学会長がホストとなり、時にはゲストを招き、我が国および各国の知財政策、企業の知財戦略等のトピックスについて紹介し、意見交換を行う.